

## 2020年活動報告 新渡戸脳研室長 内原 俊記

コロナウイルスの影響で仕事も日常生活も混乱し、なかなか出口の見えない2020年でした。学会の企画では予定した演者がコロナを理由に辞退されるという事態に至り、中止もやむなしかと思いましたが、代わりに急遽演者を引き受けてくれる方が複数おられ救われました。コロナだから活動ができないのはやむをえないのですが、逆にこうした時期だからこそ診療、教育、学会、論文などにも力を注ごうという方々も周囲には沢山いらしたことが励みになりました。十分な活動ができた訳ではありませんが、よいこともあったように感じます。2021年も無理にならない範囲で、できることを進めたいと思います。

**病理解剖数の減少：**2020年はコロナウイルスの影響で、当院の病理解剖数も8例と例年の半分以上に減少しました。東京医科歯科大学病理部のお力添えもあり、PCR陰性を確認することで、病理解剖を再開する方向に比較的早く戻れたことは幸いでした。在宅剖検の費用を捻出する外部資金も2020年には三菱財団の助成が決定しました。

**CPCのWeb配信開始：**多数のヒトが一堂に会するカンファレンスや学会は概ね中止となり、当院CPCも4月、5月は中止となりました。CPCの再開はコロナの収束を待ってとの意見もありましたが、Webでの開催で感染リスクは避けられるとの御判断をいただき、6月にはWeb上でのCPCを開始することができました。当初音声や画像の操作になれておらずご迷惑をおかけしましたが、次第にシステムを改善していただき、通常のCPCに近いレベルで運用できています。ご協力いただいたシステム室に感謝します。CPCをWebに展開したことで、画像情報は各自の端末に直接届き、より鮮明で見やすくなっています。また遠く沖縄やドイツからご参加くださる方もあらわれ、コロナウイルスの感染を契機に、CPCの届く範囲は一挙にひろがっています。

そこで、本年のCPCは臨床、病理の提示を行ったのち疾患や症例の解説も取り入れる方向を模索する予定です。1月は海馬一大脳皮質病変を伴うALS例で、この疾患の研究を精力的に進めておられる国立病院機構千葉東病院 武田貴裕先生にALSの認知症と背景病理について御講演をお願いしました。さらに3月には沖縄型筋萎縮症という家族性疾患のCPCを予定しています。この疾患の多くの家系を追跡しておられる国立病院機構沖縄病院の先生方、その遺伝子を検索してこられた鹿児島大学の先生方からお話をうかがう予定です。コロナでCPCも一旦苦境に立たされましたが、Web導入という新たな突破口が開かれ、CPCの規模や内容は今後格段によくなる可能性が見えています。多くの方々に御参加いただき、御意見をうかがって更に有意義なCPCとして発展させたいと思います。

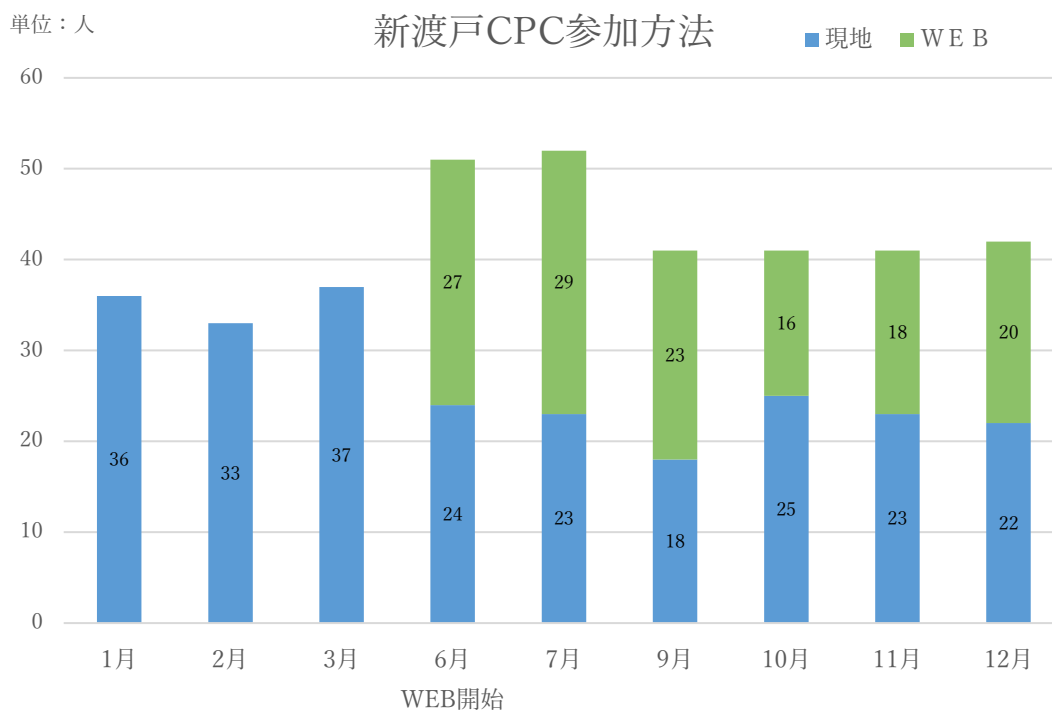
**学会活動：**神経学会ではシンポジウム「脳内眼診断の極意—ローテクのみでここまで鑑別できる—」、教育コース「仮面舞踏会（臨床）の楽屋裏（神経病理）を覗く—臨床の鑑別力を高めるために—」を企画しました。いずれも臨床に直結した充実した内容の御発表をいただきましたが、会場での参加者が少なかったのが残念です。形をかえて再度発表していただく機会を模索したいと思います。Web開催となった神経病理学会ではシンポジウム「タウ病変の疾患特異性—臨床診断から分子基盤まで—」を企画し、シンポジストとして「PSPとCBDの病理学的区別は可能か？」を発表しました。認知症学会では教育講演「白質病変の部分と全体に病理から迫る—より良い診断と治療をめざして—」を担当しました。

**論文：**昨年の神経病理学会で企画したシンポジウム「Braak-prion 仮説再考」、神経学会で企画した教育コース「典型像と非典型像—病理と臨床の対話—」を英文総説集としてNeuropathology誌に発表しました。英文症例報告は5件あり、研修医1年目の原有梨香医師、2年目の土居秀基医師は筆頭著者となっています。Luxemburgの神経内科医 Diederich Nico 教授と共著でParkinson病の総説を2019年にMovement Disorders誌に発表しましたが、2020年はTrends in Neuroscience誌に続編を発表しました。

**原点回帰：**1982—4年に研修医として在籍させていただいた沖縄県立中部病院ハワイ大学卒業後研修プログラムのお招きを受け11月16日—20日に神経内科のコンサルタントとして講演や診療に従事しました。コロナの影響で混乱した真最中に、臨床の故郷に戻り、自分を見つめ直す機会を与えられたのは単なる偶然以上の何かであろうとの思いが、その後しだいに強くなっています。

## 2020年 新渡戸記念中野総合病院 剖検例一覧

No.	年齢	性別	臨床診断	在宅	開頭
1	71	男	家族性脊髄性筋萎縮症	○	○
2	85	男	パーキンソン病	○	○
3	71	女	末期腎不全	○	○
4	60	男	重症急性膵炎		
5	83	男	筋萎縮性側索硬化症	○	○
6	71	男	腫瘍随伴症候群	○	○
7	92	女	びまん性大細胞型B細胞性リンパ腫		
8	81	男	間質性肺炎急性増悪		



2020年 内科・神経内科CPC一覧

回数	開催日	題名	臨床医	病理医	司会
1	499	1月22日 敗血症による多臓器不全の治療中に意識障害や呼吸不全をきたした一例	佐藤 英彦	田口 登和子	甲斐 文彬 (修1)
2	499	1月22日 正中頸嚢胞摘出術後 1 1 日目に突然死した 5 4 歳男性	毛利 香織	和田 あかね	穂坂 伸吾 (修2)
3	500	2月19日 多発脳転移を伴うEGFR遺伝子変異陽性肺腺癌の一例	高崎 寛司	新宅 洋	土居 秀基 (修2)
4	500	2月19日 一時帰宅中に突然死した進行肺癌の96歳女性例	清水 玄	山本 <55	佐治 ひば子 (修1)
5	501	3月18日 BCG勝注後に間質性肺炎の急性増悪を起した77歳男性	天野 稜大	和田 あかね	天野 稜大(脳神経内科)
6	501	3月18日 成人T細胞白血病・リンパ腫を合併した大脳皮質基底	白石 織栄	木脇 祐子	甲斐 文彬 (修1)
7	502	6月24日 肝性脳症、イレウスを繰り返し肺炎を併発した維持透析中の73才男性	佐藤 英彦	布川 裕規	佐治 ひば子 (修2)
8	502	6月24日 ALS経過中に肺癌を発症した80代女性例	川畑 有紗・融 衆太	山本 <55	川畑 有紗 (修2)
9	503	7月22日 維持透析中の肺炎で急性増悪をきたした70歳代男性例	川畑 有紗	加藤 亮子	山本 祥馬 (修1)
10	503	7月22日 低心機能のetiology精査に難渋した重症心不全の一例	増村 麻由美	新宅 洋	金尾 季範(修1)
11	504	9月23日 MIBG正常だが、levodopa有効でパーキンソン病が疑われた86歳男性例	融 衆太	矢内 雅恵	山本 始 (修1)
12	505	10月28日 右心耳内腫瘍性病変と間欠性洞停止を認めた急性心不全の一例	増村 麻由美	田口 登和子	茂原 健志 (修1)
13	505	10月28日 腎不全透析フォロー中に高度徐脈を呈し、心停止に至った症例	融 衆太	布川 裕規	市川 椋雅 (修1)
14	506	11月25日 特発性器質化肺炎の加療中に上部消化管出血を起した1例	清水 玄・安達 彩織	松木 裕子	伊東 翼 (修1)
15	507	12月23日 パーキンソン病と診断され大量胸水で死亡した黒質変性が軽度にとどまった80代男性	清水 玄・融 衆太	山本 <55	和泉 貴生 (修1)

論文 \*:Corresponding author

1. T. Uchihara\*, N. Shibata and M. Yoshida (2020) "Reconsidering the Braak-prion hypothesis: truths or realities." **Neuropathology**. 40(5): 413-414. doi: 10.1111/neup.12704 2019年日本神経病理学会で企画したシンポジウム「Braak-prion仮説再考」の総説集の編集後記
2. T. Uchihara\* (2020) "Neurofibrillary changes undergoing morphological and biochemical changes - How does tau with the profile shift of from four repeat to three repeat spread in Alzheimer brain?" **Neuropathology**. 40(5): 450-459. doi: 10.1111/neup.12669 2019年日本神経病理学会で企画したシンポジウム「Braak-prion仮説再考」の演題「変化する神経原線維変化」の総説化
3. T. Uchihara\*, M. Yoshida and N. Shibata (2020) "Crosstalk between neuropathology and clinical neurology: Fundamentals for clinical neurologists". **Neuropathology**. 40(1):21. Doi: 10.1111/neup.12627 2019年日本神経学会学術大会で企画した 教育コース「典型像と非典型像—病理と臨床の対話—」を総説化した編集後記
4. N. J. Diederich\*, T. Uchihara, S. Grillner and C. G. Goetz (2020) "The Evolution-Driven Signature of Parkinson's Disease." **Trends Neurosci**. 43(7): 475-492. doi: 10.1016/j.tins.2020.05.001
5. M. Takahashi, T. Uchihara, M. Yoshida, K. Wakabayashi, A. Kakita, H. Takahashi, S. Toru and S. Orimo\* (2020) "Clinical and pathological features affecting cardiac sympathetic denervation in autopsy-confirmed dementia with Lewy bodies." **Eur J Neurol**. 27(7): 1155-1163. doi: 10.1111/ene.14240
6. T. Takeda, T. Uchihara\*, T. Endo, M. Kitagawa, K. Hirokawa, T. Kobayashi and S. Toru (2020) "Numerous ballooned neurons in a 94-year-old man with dementia with Lewy bodies." **J Neurol Sci**. 412: 116722. doi: 10.1016/j.jns.2020.116722
7. R. Amano, S. Toru, M. Yamane, M. Kitagawa, K. Hirokawa and T. Uchihara\* (2020) "Parallel enlargement of Marinesco bodies and nuclei and progressive deposition of p62 in pigmented neurons of the substantia nigra." **Neuropathology**. 40(4): 328-335. doi: 10.1111/neup.12647
8. S. Toru\*, T. Yamada, M. Suzuki, A. Takemoto, T. Amano, M. Kitagawa, T. Kobayashi and T. Uchihara (2020) "Acute Spinal Cord Infarction with Preferential Involvement of Ventral Gray Matter: An Autopsy Report." **J Stroke Cerebrovasc Dis**. 29(12): 105348. doi: 10.1016/j.jstrokecerebrovasdis.2020.105348
9. S. Toru\*, S. Ishida, T. Uchihara, K. Hirokawa, M. Kitagawa and K. Ishikawa (2020) "Comorbid argyrophilic grain disease in an 87-year-old male with spinocerebellar ataxia type 31 with dementia: a case report." **BMC Neuro I**. 20(1): 136. doi: 10.1186/s12883-020-01723-2
10. T. Umahara\*, T. Uchihara, K. Hirao, S. Shimizu, T. Hashimoto, M. Kohno and H. Hanyu (2020) "Essential autophagic protein Beclin 1 localizes to atherosclerotic lesions of human carotid and major intracranial arteries." **J Neurol Sci**. 414:116836. doi: 10.1016/j.jns.2020.116836
11. T. Umahara\*, T. Uchihara, K. Hirao, S. Shimizu, T. Hashimoto, J. Akimoto, M. Kohno and H. Hanyu (2020) "Frontotemporal dementia-associated protein "phosphorylated TDP-43" localizes to atherosclerotic lesions of human carotid and main cerebral arteries." **Histol Histopathol**. 35(2):159-167. doi: 10.14670/HH-18-140

12. T. Umahara\*, T. Uchihara, K. Hirao, S. Shimizu and H. Hanyu (2020) "Phosphorylated TDP-43 localizes to chronic cerebral infarctions in human brains. " **Journal: *Histol Histopathol.*** 35(9):1023-1028. Doi: 10.14670/HH-18-235
13. A. Hara ( 1 年次研修医), R. Amano, H. Yokote, M. Ijima, S. Zeniya, T. Uchihara, S. Yada, M. Masumura, H. Takei, I. Nishino and S. Toru\* (2020) "Secondary cardiac involvement in anti-SRP-antibody-positive myopathy: an 87-year-old woman with heart failure symptoms as the first clinical presentation. " ***BMC Neurol.*** 20(1): 29. doi: 10.1186/s12883-020-1599-5
14. H. Doi ( 2 年次研修医), H. Yokote, T. Uchihara and S. Toru\* (2020) "Bilateral Optic Nerve Edema in Central-variant Posterior Reversible Encephalopathy Syndrome. " ***Intern Med.*** 59(18): 2333-2334. doi: 10.2169/internalmedicine.4919-20

## 学会

1. **教育講演**：内原俊記, 穴戸原由紀子 and 融衆太 (2020). 白質病変の部分と全体に病理から迫る－より良い診断と治療をめざして－. 第39回日本認知症学会学術集会. 名古屋国際会議場 WEB : 2020.11.26-28
2. **シンポジウム企画**：内原俊記 and 豊島靖子 (2020). タウ病変の疾患特異性－臨床診断から分子基盤まで－. 第61回日本神経病理学会総会学術研究会. WEB : 2020.10.12～14
3. **シンポジウム演者**：内原俊記 (2020) PSPとCBDの病理学的区別は可能か？－病理診断基準の問題点－. 第61回日本神経病理学会総会学術研究会. WEB : 2020.10.12～14
4. **シンポジウム企画、司会**：岩崎靖, 内原俊記, 宇高不可思, 橋詰良夫, 岩淵潔 and 吉田眞理 (2020). 脳肉眼診断の極意－ローテクのみでここまで鑑別できる－. 座長：岩崎靖, 内原俊記. 第61回日本神経学会学術大会. 岡山コンベンションセンター2F展示ホール. 2020.9.1 (火) .
5. **教育コース企画、司会**：内原俊記, 武田貴裕, 豊島靖子, 川勝忍, 陸雄一 and 穴戸原由紀子 (2020). 仮面舞踏会（臨床）の楽屋裏（神経病理）を覗く－臨床の鑑別力を高めるために－. 司会：内原俊記, 武田貴裕. 第61回日本神経学会学術大会. 岡山国際交流センター2F国際会議場. 2020.8.31. 教育コース
6. 内原俊記, 融衆太, 山根道雄, 廣川勝昱, 北川昌伸 and 入江徹也 (2020). おだやかな看取りを明日に活かすみち-在宅解剖を地域と共有する新渡戸モデルの展開-. 第61回日本神経学会学術大会. 岡山コンベンションセンター. 2020.8.31-9.2. 【誌上開催】一般演題口演セッション
7. 安達彩織, 内原俊記, 天野稜大, 町田容子, 銭谷怜史, 横手裕明 and 融衆太 (2020). Possible pleocytosis in patients without meningeal irritation signs. 第61回日本神経学会学術大会. 岡山コンベンションセンター. 2020.8.31-9.2. 【誌上開催】一般演題ポスターセッション（英語）
8. 植松未帆, 三上恭平, 中村綾子, 廣川勝昱, 安達栄治郎, 高橋良輔 and 内原俊記 (2020). Quantum dot/nanogold colabeling for double correlative light and electron microscopy of human brain. 第61回日本神経学会学術大会. 岡山コンベンションセンター. 2020.8.31-9.2. 【誌上開催】一般演題口演セッション
9. 融衆太, 内原俊記, 北川昌伸 and 廣川勝昱 (2020). 剖検でLewy病理が確認されたがLewy body diseaseの臨床診断がされなかった症例の検討. 第61回日本神経学会学術大会. 岡山コンベンションセンター. 2020.8.31-9.2. 【誌上開催】一般演題ポスターセッション（日本語）
10. 金亮秀, 入岡隆, 新宅洋, 内原俊記 and 横田隆徳 (2020). 水痘・帯状疱疹ウイルス脳炎の1剖検例, 病態機序に関する病理学的解析. 第61回日本神経学会学術大会. 岡山コンベンションセンター. 2020.8.31-9.2. 【誌上開催】一般演題ポスターセッション（日本語）

11. 馬原孝彦, 内原俊記, 平尾健太郎, 清水聰一郎 and 羽生春夫 (2020). Phosphorylated TDP-43 localizes to atherosclerotic lesions of human carotid and cerebral arteries. 第61回日本神経学会学術大会. 岡山コンベンションセンター. 2020.8.31-9.2. [誌上開催] 一般演題ポスターセッション (英語)
12. 安達彩織, 横手裕明, 梶村光貴, 黒岩伸明, 朴文英, 七枝健太郎, 銭谷怜史, 内原俊記 and 融衆太 (2020). 左眼の散瞳・眼球運動障害を認め神経梅毒と診断した33歳男性例. 第235回日本神経学会関東・甲信越地方会. Web (LIVE配信) : 2020.12.5 12:00~17:35
13. 荻野絢, 五十嵐奨, 入岡隆, 新宅洋 and 内原俊記 (2020). 胸腺癌治療後にAMPA受容体抗体陽性脳炎を発症した61歳男性例. 第235回日本神経学会関東・甲信越地方会. Web (LIVE配信) : 2020.12.5. 12:00~17:35
14. 内原俊記, 融衆太, 山根道雄, 廣川勝昱, 北川昌伸 and 入江徹也 (2020) 「おだやかな看取りを明日に活かすみち」病理解剖を地域と共有する「新渡戸モデル」の新展開. 第61回日本神経病理学会総会学術研究会. WEB: 2020.10.12~14
15. 板谷早希子, 新宅洋, 融衆太, 内原俊記, 廣川勝昱, 綿引定清 and 鎌田智幸 (2020) PSP with predominant speech / language disorder(PSP-SL)の剖検例 An autopsy case of PSP with significant speech / language impairment. 第61回日本神経病理学会総会学術研究会. WEB: 2020.10.12~14
16. 内原俊記, 融衆太, 山根道雄, 岡田猛, 新宅洋, 北川昌伸, 廣川勝昱 and 入江徹也 (2020). Zooming into CPC 在宅剖検事業「おだやかな看取りを明日に活かすみち」WebCPCの試み. 第39回日本認知症学会学術集会. 名古屋国際会議場 WEB: 2020.11.26-28
17. 二本松尚美, 松田芳樹, 小澤信幸, 青木和久, 吉田眞理, 長谷川成人 and 内原俊記 (2020) Plexin-B3オリゴデンドロサイト前駆細胞は脳損傷に応答しA $\beta$ を産生する. 第39回日本認知症学会学術集会. 名古屋国際会議場 WEB: 2020.11.26-28
18. 融衆太, 安達彩織, 宮下彰子, 石田尚子, 北川昌伸, 廣川勝昱, 石川欽也 and 内原俊記 (2020). 脊髄小脳変性症 31 型における認知機能. 第39回日本認知症学会学術集会. 名古屋国際会議場 WEB. 2020.11.26 (木) -28 (土) .
19. 中島美知子, 今村昌幹, 中島マリア美知子, 中島修平, 石田尚子, 融衆太, 内原俊記, 北川昌伸, 廣川勝昱 and 入江徹也 (2020). 遷延する意識障害の見られた肝硬変のエンドオブライフ・ケア～在宅剖検の視点より検討～. 第2回日本在宅医療連合学会大会. WEB開催: 2020.6.27-28

20. 内原俊記, 融衆太, 三五美和, 中村洋一, 中島美知子, 今村昌幹, 安西宣恵, 廣川勝昱, 北川昌伸 and 入江徹也 (2020) おだやかな看取りを明日に活かすみち-在宅看取り例の在宅主治医によるCPC臨床提示の5例. 第2回日本在宅医療連合学会大会. Web開催.: 2020.6.27-28
21. 融衆太, 内原俊記, 山田哲夫, 新宅洋, 佐藤志津子, 北川昌伸 and 廣川勝昱 (2020). 中枢神経原発悪性リンパ腫の治療後在宅療養中にlymphomatosis cerebriを発症した1剖検例. 第2回日本在宅医療連合学会大会. WEB開催: 2020.6.27-28



## 講演

1. 内原俊記 (2020). 脳と心をつなぐレヴィー病変 ～パーキンソン病とレヴィー小体型認知症の理解のために～. 世話人・座長：高橋一司. 第31回関東パーキンソン病勉強会. T K P 東京駅大手町カンファレンスセンター.: 2020.11.14

### **2020年11月16-20日 沖縄県立中部病院ハワイ大学卒後医学臨床研修プログラム.短期コンサルタント**

2. 内原俊記 (2020). 経験と科学のあいだー臨床医が研究したらー. 沖縄県立中部病院ハワイ大学卒後医学臨床研修プログラム. 沖縄県立中部病院.: 2020.11.16
3. 内原俊記 (2020). 脳の内と外から見る認知症 (アルツハイマー病タウを中心に). 沖縄県立中部病院ハワイ大学卒後医学臨床研修プログラム. 沖縄県立中部病院.: 2020.11.16
4. 内原俊記 (2020). Jolt accentuationから30年 Cochrane reviewへの道. 沖縄県立中部病院ハワイ大学卒後医学臨床研修プログラム. 沖縄県立中部病院.: 2020.11.16
5. 内原俊記 (2020). 脳と心をむすぶレヴィー病変. 沖縄県立中部病院ハワイ大学卒後医学臨床研修プログラム. 沖縄県立中部病院.: 2020.11.17
6. 内原俊記 (2020). 「脳の構造蛋白の機能と加齢変化を学ぶ」. 沖縄県立中部病院ハワイ大学卒後医学臨床研修プログラム. 沖縄県立南部医療センター.: 2020.11.17
7. 内原俊記 (2020). マリー失調症の発掘 (サルペトリエール病院の1943年剖検例から). 沖縄県立中部病院ハワイ大学卒後医学臨床研修プログラム. 沖縄県立中部病院.: 2020.11.18
8. 内原俊記 (2020). 白質病変のとらえかた. 沖縄県立中部病院ハワイ大学卒後医学臨床研修プログラム. 沖縄県立中部病院.: 2020.11.19
9. 内原俊記 (2020). おだやかな看取りを明日に活かすみち (在宅剖検事業). 沖縄県立中部病院ハワイ大学卒後医学臨床研修プログラム. 沖縄県立中部病院.: 2020.11.20